



第4回健康寿命をのばそう！アワード<母子保健分野> 厚生労働大臣最優秀賞受賞

スミセイアフタースクールプロジェクト

あなたの未来を強くする



住友生命保険相互会社
ソーシャルコミュニケーション室
須之内たか美

スミセイアフタースクールプロジェクト

小学生の放課後の居場所である全国の学童保育等をより楽しく子どもたちが成長できる場所とすることを目指します！



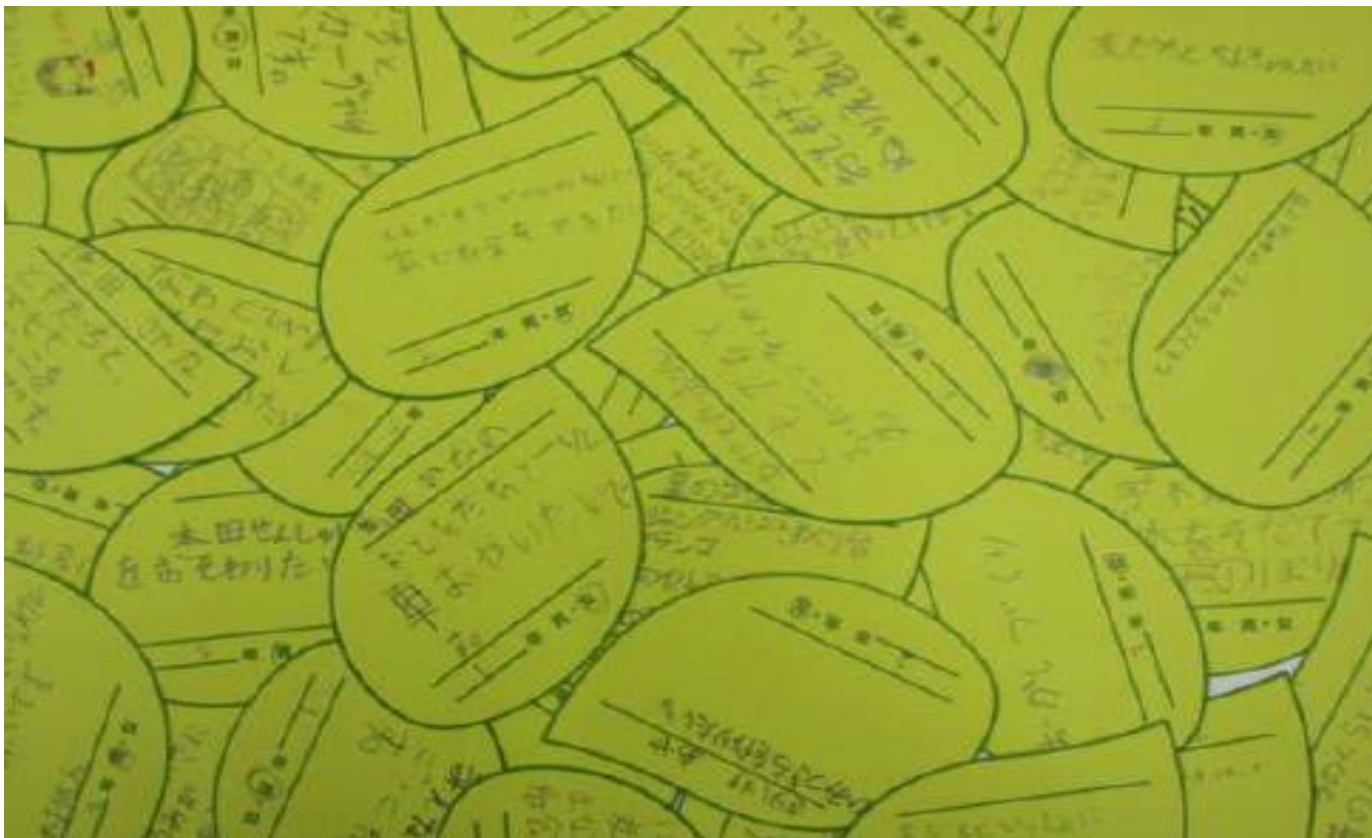
学童保育入所児童数	101万7,429人
学童保育数	2万5,541ヶ所

⇒ **潜在的な待機児童数は、**
低学年に限っても40万人以上いると推測

⇒ **量の不足の問題だけでなく、子どもの人数**
が多すぎるために、遊びや活動が制限され
る問題も発生している。

学童保育等の子どもたちに聞いてみました。

放課後や夏休みにやってみたいことはなんですか？



回答数：1,029(全国で記入)

(男子：48% 女子52% ， 低学年：77% 高学年23%)

放課後や夏休みにやってみたいことはなんですか？

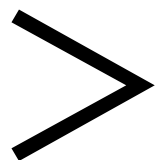
～全国約1,000人の小学生に聞きました～

低学年		
1位	サッカー	65人
2位	ドッジボール	46人
3位	鬼ごっこ	39人
4位	縄とび	35人
5位	ゲーム	26人
6位	遊び	25人
7位	工作	23人
8位	絵画	21人
9位	外遊び	20人
10位	読書	19人

高学年		
1位	サッカー	20人
2位	なし	19人
3位	ドッジボール	15人
4位	鬼ごっこ	10人
5位	外遊び	9人
6位	楽器	7人
6位	おやつ	7人
8位	工作	6人
8位	野球	6人
8位	理科実験	6人

学童保育で過ごす時間は、小学校で過ごす
時間より**460**時間も長い

学童保育にいる時間
(1~3年生の平均)



小学校にいる時間
(1~3年生の平均)

年間約**1681**時間

年間約**1221**時間

データ出典：全国学童保育連絡協議会2015年8月7日報道発表資料
参考資料1(2012年調査)

スミセイアフタースクールプロジェクト

以下のメニューの無償提供

- ①スミセイアフタースクールプログラム
- ②放課後をもっと楽しく！book
- ③HPでのペーパークラフト類等



① スミセイアフタースクールプログラム

「健康」「いのち」「未来」をテーマとした、全国の学童保育等へへの出張授業



H26～27年度 全国の80箇所にて開催

「健康」のプログラム



無形文化遺産「和食」



走り方講座



ことばと健康



Let's play ドッジボール！

「いのち」のプログラム



心臓外科医のシゴト



看護師のシゴト



冒険家



ファインダーから見るいのち

「みらい」のプログラム



スラックライン



宇宙の未来



木のぬくもり、不思議を知ろう



キャッチボール

「夢」のプログラム



ダブルダッチのチャンピオンと一緒に練習したい！



百人一首の名人に取り方のコツを教わりたい！



プロサッカー選手と練習したい！



けん玉のチャンピオンに教えてもらいたい！

講演会・勉強会の実施



スミセイアフタースクールプログラム開催日同日に
「地域の方々と一緒につくる子どもたちの放課後」を
テーマに講演会や勉強会を開催

〈参加者〉

・学童保育等の指導者・地域の協力者・行政関係者・保護者等



プログラムづくりを体験



ふせんにプログラム案
を記入



グループ毎にひとつ
実現したいプログラムを
選んで、実現方法を検討



②放課後をもっと楽しく！book

スミセイアフタースクールプログラムにご応募いただいたすべての団体さまに「放課後をもっと楽しく！book」を配布。

放課後をもっと楽しく！book



<コンテンツ>

- ・小学生の成長過程一覧
 - ・プログラム事例集
- 等

スミセイアフタースクールHP

プログラムツール

本書に掲載している「プログラム事例集」でご活用いただけるツールを用意しています。

<p>☑ お天気プログラム</p> <p>プログラムスライド1 プログラムスライド2 天気予報記録シート</p>	<p>☑ 日本語プログラム</p> <p>イラスト見本</p>	<p>☑ だかしやプログラム</p> <p>プログラムスライド</p>
<p>☑ 模擬裁判</p> <p>長話練習 プログラム資料</p>	<p>☑ 防災プログラム</p> <p>プログラムスライド 総練習</p>	

連動

③ HPでのペーパークラフト類等

学童保育等の空き時間に手軽に遊んでいただけるすごろくやペーパークラフト類をホームページ上にて提供。また、「日本のあそび」「世界のあそび」コーナーを設け、各地域で行われているあそびをご紹介します。



みらいのいえ



みらいへのみちすごろく (立体)



おえかきさいふ



バクバクおさる

すぐにあそべる
ツールダウンロード

他の地域の子どもたちはどんなあそびをしているのかな？
日本や世界のあそびを集めています！
地図の上にマウスをのせて、探してみてください。

ここで紹介している「あそび」は、子どもたちの遊びの世界を広げるために、色々な「あそび」があることを紹介するために概要を掲載しているものです。
「あそび」のルールを掲載するものではありません。
(同じ都道府県内でも地域毎にルールが異なるものや、大衆などでは異なるルールが存在するものもあります。)
また他の都道府県でも同様の「あそび」が存在するものもあります。

日本全国のあそび
 世界中のあそび
 全部を見る

全国共通のあそび

世界のあそび 世界のあそび しっぽ長い蛇：中国 大勢 海外	北海道地方 北海道のあそび 大勢 国内	世界のあそび 世界のあそび 石かくし：ミャンマー 大勢 海外	九州・沖縄地方 九州・沖縄のあそび キイロ（鹿児島） 少人数 国内
全国共通のあそび 全国共通のあそび かくれんぼ 大勢 海外	全国共通のあそび 全国共通のあそび フルーツバスケット（なんでもバスケット） 大勢 国内	世界のあそび 世界のあそび ターラーターラー（ターラー一勝負）：ドイツ 大勢 海外	全国共通のあそび 全国共通のあそび ハンカチ落とし 大勢 海外

日本のあそび
世界のあそび

学童保育の子ども達が 「オリジナルすごろく」をつくってくれました！



プログラム動画配信中！

プログラム動画紹介



プログラム動画紹介



プログラム動画紹介



プログラム動画紹介



ぜひホームページへアクセスしてください！

The image shows the homepage of the Smisei After School Project website. At the top left is the logo with two children and the text 'スマセイアフタースクールプロジェクト'. To the right are social media icons for Facebook, Twitter, Google+, and others, along with a 'お問い合わせ' (Contact Us) button. Below the header is a navigation bar with 'TOP', 'スマセイアフタースクールプロジェクトについて', 'プログラム', 'プログラムレポート', '日本のあそび世界のあそび', and 'あそびツールダウンロード'. The main content area features a central message: '全国の子どもたちの放課後をもっと楽しく！「♡いのち」「🏥健康」「🌐未来」をキーワードにスマセイアフタースクールプログラムを開催していきます!!'. Below this are three program categories, each with a circular image and a list of activities: 1. 'いのちのプログラム' (Life Program) with activities like 'ふれあいのシゴト', 'ふれあいのシゴト', '日替り', and 'コアインダーカードあそびの会'. 2. '健康のプログラム' (Health Program) with activities like '無形文化遺産「和食」を学ぶ', 'ふれあいのシゴト', 'ことばと図鑑', and 'role play トンネルゲーム'. 3. '未来のプログラム' (Future Program) with activities like 'スウェットコイン (通称カ) の世界チャンピオンになる!!', '本物のあそび', 'あそびのルール、不思議を知る!!', and 'キャッチボール'. Each category has a 'すべて見る' (View All) button. At the bottom, there is a banner for '夢をかなえるプログラム' (Program to fulfill dreams) and a call to action: 'みんなの放課後に市民先生を呼ぼう！スマセイアフタースクールプロジェクト応募はこちら' (Let's call citizen teachers after school for everyone! Apply for the Smisei After School Project here). There are two buttons: '応募はこちら' (Apply here) and '応募チラシダウンロード' (Download application flyer).

スミセイアフタースクールプログラム H28年4月～公募開始予定(50団体)



第4回健康寿命をのぼそう！アワード<母子保健分野>
厚生労働大臣優秀賞受賞

——難病の子ども、家族を支える——
難病ネットの活動



認定NPO法人

難病のことも支援全国ネットワーク

小林 信 秋

認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク

- 1988年 8月 難病の子どもの親と心ある医師が集り活動スタート。こどもの難病電話相談室開設。
- 1989年 9月 第1回こどもの難病シンポジウム開催。
- 1990年10月 親の会連絡会発足。
- 1992年 8月 サマーキャンプ“がんばれ共和国”、700名が参加して富士山で開催。
- 1993年12月 第12回こどもの難病シンポジウムに秋篠宮殿下、妃殿下お成り。
- 1998年 2月 現在の組織(難病のこども支援全国ネットワーク)に。
- 1999年10月 特定非営利活動法人(NPO)。
- 2001年 健やか親子21推進協議会課題3グループの幹事団体として参加。
- 2005年 3月 国立成育医療センターでピアサポート活動スタート。
4月 小児慢性特定疾患治療研究事業、児童福祉法に位置付けられて法制化。
- 2008年10月 第60回保健文化賞受賞。
- 2009年 2月 認定NPO法人として国税庁から認定。
- 2011年 7月 山梨県北杜市白州にレスパイト施設“あおぞら共和国”建設プロジェクトスタート。
- 2013年12月 国連「アジア・太平洋障害者の十年」功労者として内閣総理大臣表彰。
- 2015年 1月 児童福祉法の改正にかかわり小児慢性特定疾病医療費支援がスタート。
11月 第4回健康寿命をのばそうアワード(母子保健分野)厚生労働大臣優秀賞受賞。

子どもの難病とは・・・

- 原因が分からなかったり、治療法が未確立、経過が慢性にわたるなどいわゆる小児の難病は700種類以上にわたる。
- 日本にはこれらの難病とたたかう子ども達がおおよそ25万人に達している。

子どもの難病の例

- 悪性新生物(がん):白血病、悪性リンパ腫、神経芽腫、脳腫瘍など。
- 心臓病:心室中隔欠損、心房中隔欠損、ファロー四徴症、大血管転位症など。
- 腎臓病:ネフローゼ症候群、慢性糸球体腎炎、慢性腎盂炎など。
- 糖尿病:1型糖尿病、2型糖尿病、若年発症成人型糖尿病など。
- 内分泌疾患:下垂体性小人症、軟骨異栄養症、クッシング症候群など。
- 膠原病:若年性リウマチ、全身性エリテマトーデス、ベーチェット病、強皮症など。
- 呼吸器疾患:気道狭窄、気管支ぜんそく、間質性肺炎、嚢胞性線維症など。
- 先天代謝異常:フェニルケトン尿症、ムコ多糖症、副腎白質ジストロフィーなど。
- 血液疾患:再生不良性貧血、血友病、血小板減少性紫斑病など。
- 免疫疾患:慢性肉芽腫症、後天性免疫不全症など。
- 神経・筋疾患:筋ジストロフィー、二分脊椎症、レット症候群、モヤモヤ病など
- 消化器疾患:胆道閉鎖症、潰瘍性大腸炎、肝硬変など
- 皮膚疾患:表皮水泡症、色素性乾皮症、レックリングハウゼン病、魚鱗癬など。
- 重症心身障害、脳性まひなど。

小児の難病の特徴

Characteristics of intractable diseases in children

- 患者数が少ないために、診断が遅れたり、治療法の周知が不十分だったりする。
- 子どもであるために、患者が成長発達する。病院や学校の選択など、闘病生活に多様な困難が伴う。
- 多くはきょうだいがいて、その配慮が重要。
- 親が若いために経済的な負担が大きい。
- 先天的な疾患が多く、誤解や偏見によって傷つく患者や家族が少なくない。

難病の子ども達のため に

- 国や地方自治体など行政の行うこと。
- 医師や看護師など専門職・技能集団・学会、製薬企業・医療機器関連企業などの専門職集団の行うこと。
- 親の会やNPOなどの民間組織の行うこと。
- 社会の人々の意識の変革・ボランティア活動への参加。

難病のこども支援全国ネットワークの活動

難病の子どもと家族のために相談活動と交流活動、社会啓発活動

◎相談活動

電話相談室 03-5840-5973 月～金11:00～15:00

遺伝（先天異常）特別相談 毎月第3金曜日に臨床遺伝専門医が相談を受ける。

ピアサポート活動 国立成育医療研究センター、神奈川こども医療センター、東京都立小児総合医療センター、埼玉県立小児医療センター（2017年より）。

◎交流活動

サマーキャンプ“がんばれ共和国”を全国9ヶ所で開催、1,000名以上が参加。

親の会活動支援 法律や制度改善のための活動。

◎社会啓発活動

シンポジウム・研修会・講演会の開催。

ボランティアの養成と派遣。

出版活動。

◎みんなのふるさと“夢”プロジェクト

山梨県北杜市にレスパイト施設“あおぞら共和国”の建設・運営。

◎小児慢性特定疾病の自立支援事業を東京都から委託。

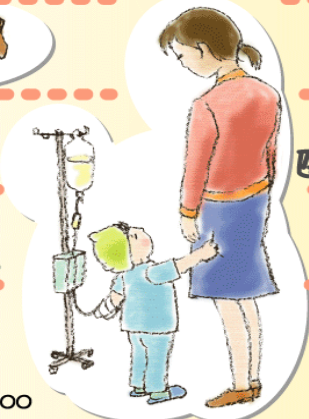
電話相談室



お母さんが元気なときは、いいんです。

ちょっぴり疲れたい、ひとりで抱えたいときは…

同じ悩みの家族、
そこにあります。



気軽に電話
医療や福祉
の情報が
問題は一ひとりで抱えないで！



月曜日～金曜日 11:00～15:00

ネットワーク電話相談室 ☎ 03-5840-5973

NPO
難病の子ども支援全国ネットワーク <http://www.nanbyonet.or.jp>

沼部博直 先生の遺伝(先天異常)特別相談
4金曜日(祝祭日を除く) 14:00～17:00
川崎医療福祉大学教授 前・神奈川県立子ども医療センター所長
難病の子ども支援全国ネットワーク運営委員

ピア・サポーターを知っていますか？
ピア・サポーターは、病気や障害のある子どもを育てる経験のある保護者が、同じ困難に直面している家庭に寄り添い、心のささげや小さな困難にも手が届くサポート活動を行います。
■ピアサポート專線 ☎ 03-5840-5972

ピアサポート活動



神奈川県立こども
医療センター

国立成育医療研究
センター



東京都立小児総合医療
センター

サマーキャンプ “がんばれ共 和国”

北海道滝川市、岩手県一関市、神奈川県大井町、静岡県島田市、愛知県新城市、



親の会連絡会

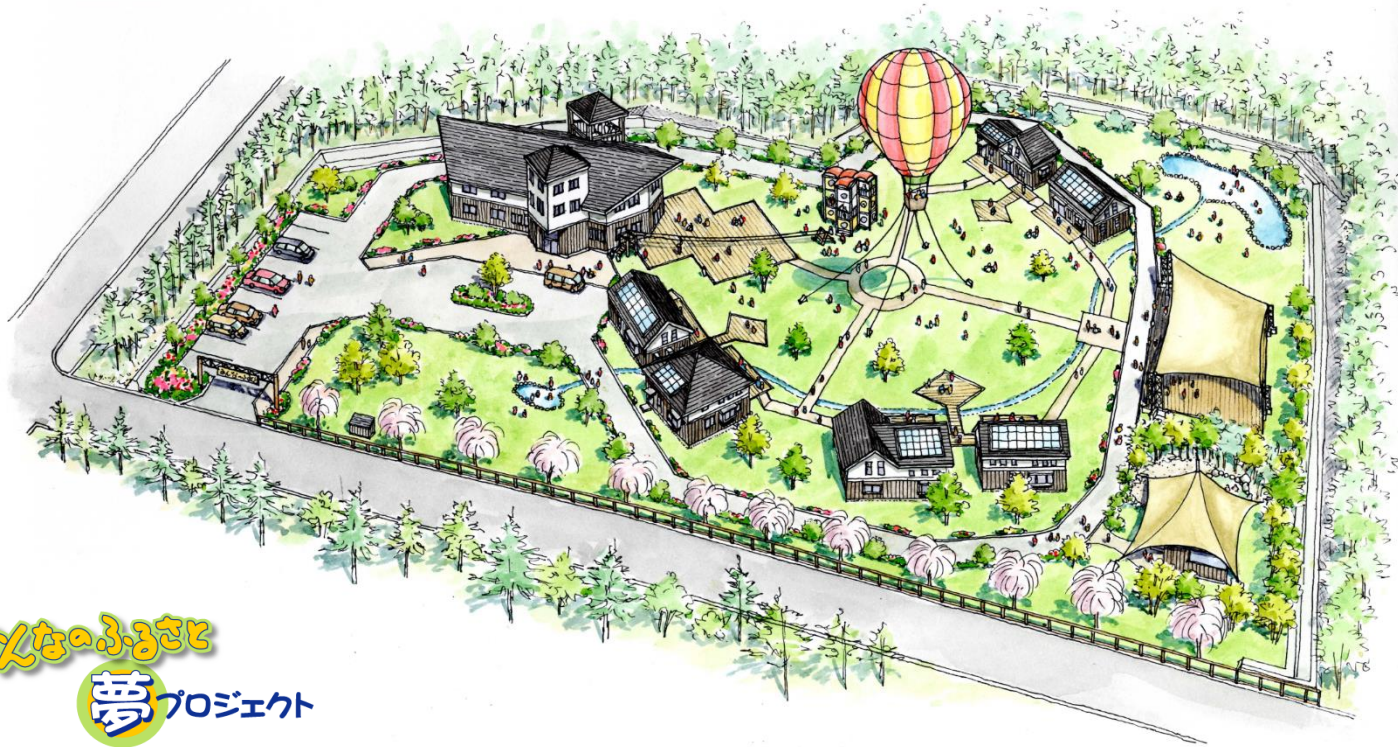


自立支援員研修会

(東京・京都で開催／国立成育医療研究センターとの共催)



レスパイト施設あおぞら共和国建國中 (山梨県北杜市)



みんなのふるさと
夢プロジェクト

小児慢性特定疾病児童等 自立支援事業がはじまりました。

平成27年1月より「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業」が開始され、難病のこども支援全国ネットワークでは東京都より委託を受け実施しています。

難病や慢性疾患・障害のある子どもとその家族は、日々の生活の中でいろいろな悩みを抱えています。子どもたちが、安心して日常生活や学校生活を送れるよう、自立のお手伝いをします。病気のこと、学校のこと、将来のことなど、様々なことを一緒に考えていきます。

1. 相談支援

子どもとその家族の様々なニーズに対応した電話相談や、ピアサポーターによる相談を行います。

【電話相談】

医師、看護師、社会福祉士などの専門職による電話相談です。

医療や教育、福祉に関すること、また親の会や同病の仲間のご紹介を実施いたします。

月曜日から金曜日まで(ただし祝日を除く)

午前11時から午後3時まで ☎ 03-5840-5973

【ピアサポート】

病気や障害のある子どもを育てた経験のある「ピアサポーター」が、様々な問題に直面している家族に寄り添います。

相談場所及び時間

- ① 国立成育医療研究センター 火・木・金曜日 午前10時から午後4時まで
- ② 神奈川県立こども医療センター 火・水・木・金曜日 午前10時から午後3時まで
- ③ 都立小児総合医療センター 火・木・金曜日 午前10時から午後4時まで
- ④ 慶應義塾大学病院 実施日不定期 午前10時から午後3時まで

(④ 慶應についてのご相談日については、☎ 03-5840-5972 までお問い合わせください。)

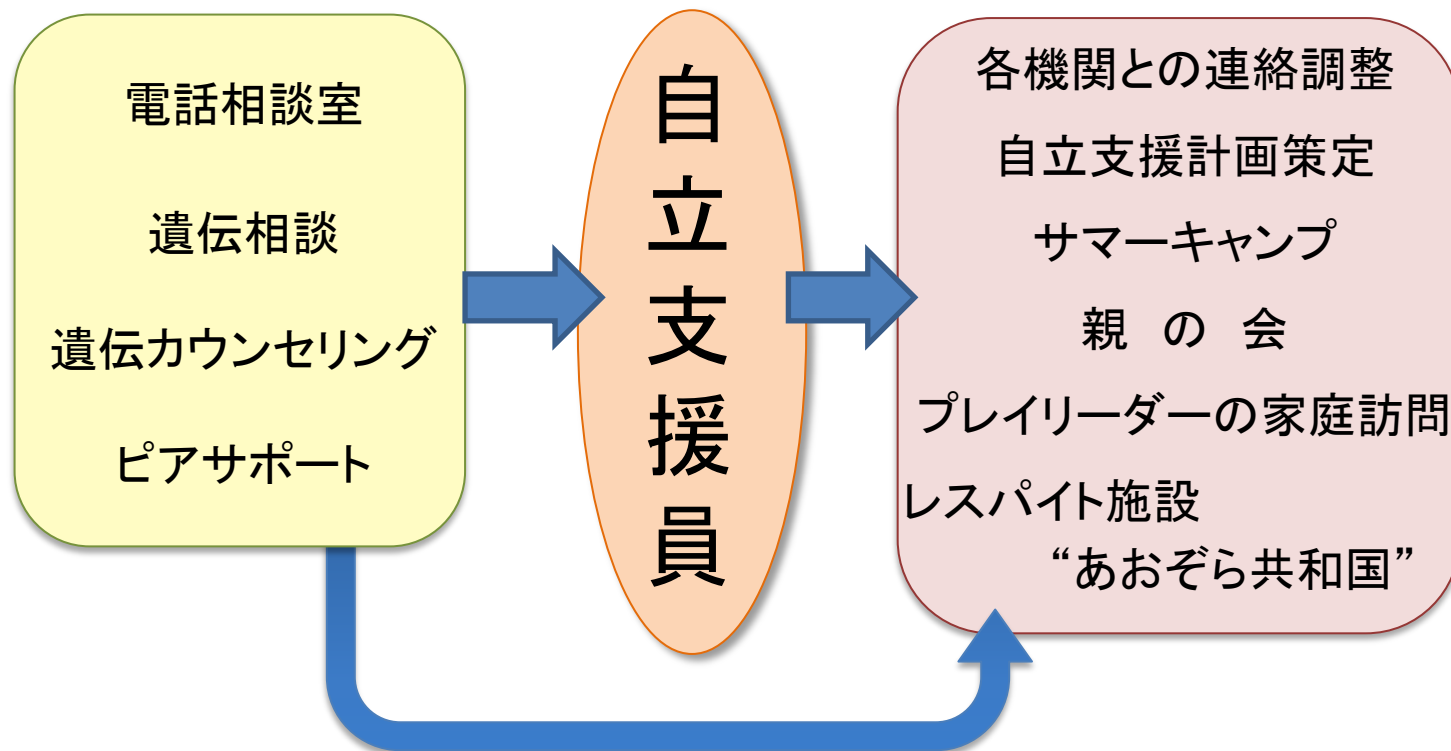
2. 小児慢性特定疾病児童等自立支援員による支援

子どもたちの状況や希望をふまえ、自立にむけて各種実施機関との連絡調整、情報提供を行います。自立支援員による個別支援をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

【連絡先】 月曜日から金曜日まで(ただし土日祝日を除く)
午前10時から午後6時まで ☎ 03-5840-5972



難病ネットの自立支援活動



フレイリーダーの病院・家庭訪問



自立支援活動の考え方

- 難病・慢性疾患・障害のある子どもと家族のそばにいる。
- 法や制度のなかだけではなく、子どもと家族にとって一番良いのは何かを一緒に考える。
- 民間活動のよさをフルに発揮して、子ども達と家族を支える。
- 子どもと家族のことをよく知る。そんな関係性を作り上げる。



認定NPO法人難病のこども支援全 国ネットワーク

URL <http://www.nanbyonet.or.jp>

E-mail: kobayashi@nanbyonet.or.jp